

保育計画成果報告書

法人名等	社会福祉法人わたぼうし福祉会
施設名	八尾たんぽぽ保育園
報告者（役職）	村上 由記美（園長）
住所・連絡先	大阪府八尾市西山本町1丁目4-16
	☎ 072-997-0579 E-mail yaotanpopo@bg8.so-net.ne.jp

○タイトル（保育計画）

しなやかな身体づくり

○主な助成備品

巧技台セット、平均台、マウンテンポール

1. 保育計画策定の目的

共同保育所を母体とし、40有余年の歴史を経て、2012年社会福祉法人わたぼうし福祉会を設立しました。10年間0, 1, 2歳児の乳児認可保育園として頑張ってきました。就学前までの継続的な保育をしたいという思いで建設場所を探し、2021年4月1日に新本園を建設することができ、2023年度によりやく5歳児まで揃い、小学校へと送ることができます。

八尾たんぽぽ保育園は食育や身体づくりに力を入れています。健やかな心を育てるためにも身体づくりは大切だと考えます。巧技台はいろいろ組み合わせることにより、年齢に合わせて子どもたちの体力づくりが可能となります。足の裏や指を使って坂を登ったり、腕や足の力を使ってよじ登ったり、バランスを保ちながら歩いたり…。繰り返し遊ぶことで体幹が育ったり、やり遂げた達成感が味わえたりと、子どもたちの心や身体の発達の手助けになると思います。しなやかな身体づくりに取り組むことで転んでしまった時に両手で身体を支えたり、転ぶ前に体勢を立て直せるとケガに繋がるが減るのではと期待しています。

2. 具体的な実施内容

頂いた巧技台等は以下のものです。



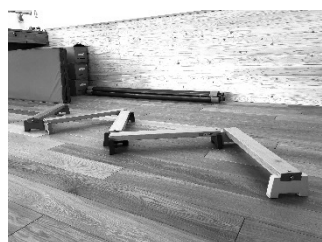
巧技台等が届き梱包を外していると、子どもたちは目をキラキラさせて「うわあ〜」と歓声があがっていました！

「いつ遊べる？」

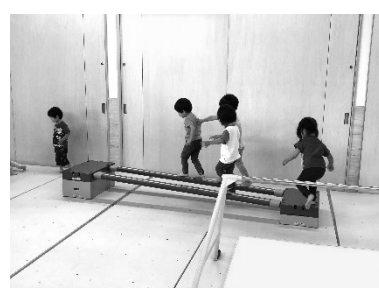
「これくっつけれるん？」

「おもしろそう！」

…と興味津々！



さっそくホールにセッティングしてクラスごとに遊びました。使い方やどうしたら危ないかの話をした後、待ちに待った体育遊び！「みて〜できるよ〜」「ちょっとこわいけど…やってみる」「やっぱりこわい…」色々な反応の子どもたち。怖くてできなかった子ども回を重ねていくと自信をもってできるようになってきました。



2021年度、新本園は3歳児までの園児のみで2階に空部屋がありました。そこに巧技台等をセッティングしておき、夕方の時間等でも遊びに行けるようにしていました。組み立てと片付けに時間がかかるので、出したままにしておける部屋があったことで繰り返し、子どもたちと楽しむことができました。

3. その成果と評価

2022年度は4歳児まで増え巧技台の組み立て方も工夫をしてみました。斜面を駆け上ったり、高い所からのジャンプも上手に着地できるようになり、分園の0, 1歳児も斜面を這い這いで登ったり這い這いでくぐったり…みんなで身体づくりに取り組みました。

うんどうかい



今年度は初めて0歳児から4歳児全員で小学校のグラウンドを借りて運動会をしました。転んでも手が付けるように、転びそうになっても体勢を立て直せるようにと取り組んできた身体づくりの成果を、保護者の方たちと一緒に確認できる運動会にしたいと職員と相談しながら取り組みました。

前日までの大雨で、グラウンドで運動会ができるか心配しましたが、朝から晴れて運動会日和となりました。クラスごとに「忍者」になったり、お話の世界の「そうべえ」になったりして巧技台を駆け上ったり跳んだり、ゆらゆら揺れる橋を渡ったり…子どもたちがしっかり身体を動かし、去年はできなかったことができるようになった姿を見て、保護者と共に喜び合える時間となりました。

4. 今後の課題と展望

一年以上巧技台を使った体育遊びに取り組んできましたが、まだまだ転ぶと手が出なくて顔を擦りむいてしまう子もいます。体育遊びとリズム運動を並行しながら、これからも「しなやかな身体づくり」に取り組んでいきたいと思います。

職員も柔らかい頭で巧技台の組み立てを考え、子どもたちがワクワクしてもっとやりたい！と思える体育遊びを展開していきたいと思います。

以上